

三井住友ファイナンス&リース(SMF L)は顧客のサーキュラーエコノミー(循環経済)実現に向けた支援に力を入れている。2025年6月にはアビームコンサルティング(東京都中央区)、アマタ(同千代田区)など4社と組み、製造業の循環経済への移行を支援するサービス「サーキュラー・コ・エボリューション(CCE)」を始めた。CCEの進捗や今後の循環経済ビジネスの方針をSMFLの関口栄一取締役専務執行役員に聞いた。

—CCEでは経営戦略、アセット調達、ファイナンス、資産管理、脱炭素などで各社の強みを持ち寄り、顧客に合った循環経済の実現を「一貫通貫」で支援します。

—循環経済を実現する上で重要な「サービリティ(履歴管理)の確保などを推進するために、展開するクラウド型資産管理システムの活用を進めます。

—当社が内製開発す

## 循環経済移行支援を拡大

三井住友ファイナンス&リース 関口 栄一氏  
取締役専務執行役員



「情報発信を通してサービスに関心を持つ企業が増えている。複数大手メーカーと連携するV A I O (長野県安曇野市)は経営陣の意識が高かったため、リース契約終了後のパソコンをメーカー保証付きで再利用するリファビリティ(再整備) パソコンの展開も1年弱で始められた」

「循環経済の普及・拡大には、生産者の環境意識を向上するだけでは不十分で、消費者の環境意識向上も欠かせない。消費者の意識を高めるために、循環経済に関する教育にも力を入れる」

—4月から新たな中

## 成功例発信、100社提供狙う

「サービリティを打ち出して1年ほどがたちます。28年までに100社への提供を目指しています。」

「経営者や担当役員が環境分野に問題意識を持つている企業だとスピード感を持って取り組みたい」

「新たなコアビジネスになるだろう。事業拡大にも貢献するだろう」

「循環経済の普及・拡大には、生産者の環境意識を向上するだけでは不十分で、消費者の環境意識向上も欠かせない。消費者の意識を高めるために、循環経済に関する教育にも力を入れる」

—4月から新たな中

「新たなコアビジネスになるだろう。事業拡大にも貢献するだろう」

「新たなコアビジネスになるだろう。事業拡大にも貢献するだろう」

「新たなコアビジネスになるだろう。事業拡大にも貢献するだろう」

「新たなコアビジネスになるだろう。事業拡大にも貢献するだろう」

**記者の目**

国家戦略CCE展開の好機

政府は循環経済を国家戦略に位置付け、市場規模を50年までに120兆円にする目標を掲げる。経済安全保障の確保、産業競争力の強化にもつながるだけに重要性が高まっている。今後、拡大が見込まれる循環経済の実現に向けた需要をCCEで取り込むことができるか。まずは成功事例をつくれるかが焦点となりそうだ。(石川雅基)